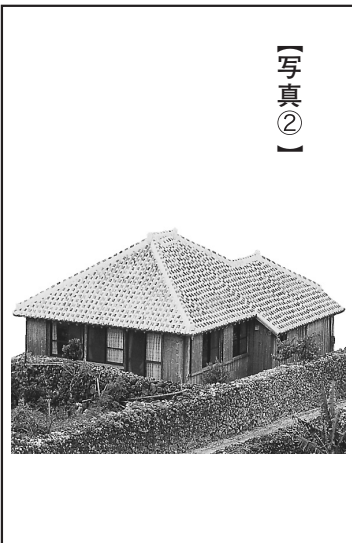
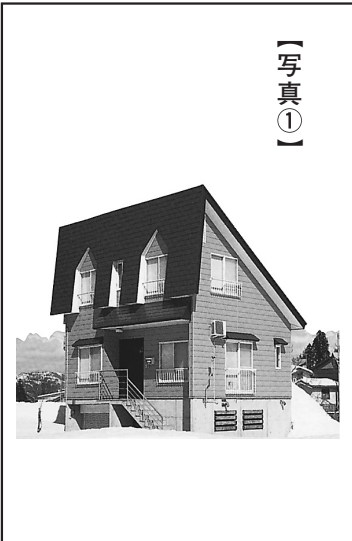


丸山さんは、自然とくらしについて調べ、【写真①】と【写真②】を使って発表しました。  
 【発表原稿】<sup>げんこう</sup>を読んで、あとの問いに答えましょう。



【発表原稿】

発表の仕方

話す内容

ア

数名に答えてもらう

ビルやマンションの屋根は、平らになっているものが多くあります。また、屋根全体が三角の形になっている家もあります。みなさんは、どんな形の屋根を見たことがありますか。

イ

屋根には、いろいろな形があります。わたしは、各地の屋根の写真をたくさん集めて、日本地図に置いてみました。

ウ

すると、屋根には、その地方の自然に合わせた特色があることが分かりました。調べたことの中から二種類の屋根について話します。この屋根の角度は、急になっています。雪の多い地方では、このような屋根の家が見られます。なぜ、このように角度が急になっているのだと思いますか。

しばらく時間をおく

それは、できるだけ、雪が屋根に積もらないようにするためです。雪は、たくさん積もると家をおしつぶすぐらいの重さになります。ですから、雪に備えるくふうの一つとして、屋根の角度を急にしています。さらに、積もった雪を熱でとかして流すなど、いろいろなくふうがあります。

エ

これは、角度がゆるやかな屋根です。どうしてこんなにゆるやかなのだと思いますか。

聞き手の反応を見る

このような屋根が見られる地方は、台風の進路にあたることで多く、強い風から家を守る必要があります。屋根の角度が急であると風をまともに受けてしまいます。だから、屋根の角度をゆるやかにして、台風のひがいをできるだけ受けないようにしているのです。かわらは、飛ばないように固めています。

オ

このように、家の屋根には、雪や台風などによるひがいに備えていろいろとくふうして作られているものがあります。